



- ネコヤナギ -

庄川の川原では、灰白色をしたネコヤナギが春の訪れを告げるように芽吹いている

S. NOMURA 2002

3

SHOGAWA PUBLIC RELATIONS



広報
しょうがわ

2002

No.575

ホームページアドレス <http://www1.tst.ne.jp/shogawa/>
Eメール shogawa@p1.tst.ne.jp

みんなでも考えよう

未来のふるさと

「庄川町」

21世紀まちづくり会議を22回開催しました

町では第4次庄川町民総合計画の3本柱である「美しい環境の住みよい町」「希望と活気に満ちた豊かな町」「人間性豊かな文化の町」実現のため、町民の皆さんから広く意見を求め、「ふるさと庄川」のまちづくりを推進しています。

「21世紀まちづくり会議」は、各地区ごとに年代別に集まっていたいただき、藤森町長を囲み、第4次庄川町民総合計画や市町村合併などについて率直なご意見を頂き、これからのまちづくりに生かしていくため開催しています。5月22日に第1回を開催してから今日まで計22回、延べ247名の皆さんに参加いただき、貴重なご意見をうかがうことができました。

皆さんからのご意見と、それに対する町長の考え方についてお知らせします。

市町村合併に 関する意見

出席者…合併することによって、町はますます過疎化が進むのではないか。

町長…砺波広域圏の10市町村に福岡町、小矢部市を加えると人口が約15万人になる。経常経費を削減できるので効率が良い。これまでの先進地の合併は「負担は低い方に、サービスは高い方にあわせること」を基本に行われている。

出席者…市町村合併したら観光祭などのイベントはどうなるのか。

町長…庄川地域のイベントということでは、観光祭などは実施していけばよい。合併するとかかなりの必要経費が節約できるので、祭りやイベントなどに多くの経費をかけることも可能になる。

出席者…市町村合併はいつまでに行うのか。

町長…合併しなければならぬという期限はないが、平成17年3月31日までに合併すれば、特例措置が受けられる。例えば砺波広域圏10市町村で合併すると、新しいまちづくりに約600億円の合併特例債が認められる。また現在、町予算の約4割が地方交付税で賄われているが、今後は削減されていく方向である。し

かし、特例法の期限までに合併すれば各市町村が交付を受けていた合併前の交付額を国は10年間保障してくれる。

出席者…庄川温泉郷のPRをもっと積極的に行えないか。

町長…観光PRにはお金がかかり、大きな組織も必要である。大きな市にしてPRするのがいい。もうすぐ東海北陸自動車道も全線開通し世界遺産や歴史的なお寺、庄川温泉郷などをセットにするなど相

出席者…市町村が合併して、より大きな自治体となり観光面でも、より多くの予算づけを期待している。例えば全国レベルの大会（仮装いかだ下りなど）を実施してはどうか。

地域の特性を出していくことが大切だと考えるが。

町長：このすばらしい一級河川「庄川」を生かした取り組みが良いと思っている。新年度では新たに「アユ」などをテーマにしたまつり・イベントを考えている。

出席者：合併すると学校や保育所はどうなるのか。

町長：合併後は当然市内のどの保育所に預けてもかまわない。学校についても学校区が見直され本人の意志で決めることができる。

出席者：合併したら、スクーパバスが運行されなくなるのではないのか。

町長：今までのサービスを止めて、みんな歩けというこ



とにはならない。先程説明したが学校を選べる範囲も広がることになる。

出席者：第3子育て奨励金を現在受給していますが、合併したらもらえなくなるのか。

町長：奨励金については、合併した時点で継続している方であれば、新しい市になっても経過措置として受給は可能だろうと考えている。

出席者：町の名前はどのようなのか。

町長：新しい市になっても市庄川町 番地と

することができ。すでに合併した市の話では、せつかく合併して市になったが旧町名を残したので、住所が長くてわずらわしいという問題も起こっている。しかし、住民の希望で庄川町という町名に愛着があるといわれれば、残すことも十分可能である。

出席者：職員はどれだけ減るのか。

町長：職員は徐々に減らすということになる。事務職で総務・企画など管理部門を減らすことができ、それらの職員を福祉や健康など今後町民ニーズの高まる専門的な分野で職員の充実を図ることができ。

出席者：庄川町が合併せずに単独で生きる道はないのか。

町長：税金を上げるとか、職員・議員の数を減らすしかないがそれにも限界がある。国保会計もこのままで行けばいずれはパンクしてしまうであろう。困っている弱者や高齢者に何も政策を講じないわけにはいかない。

市町村合併は避けて通れない道である。

出席者：合併して議員の数が減ると、町の意見がとおり難くなるのではないのか。

町長：砺波広域圏10市町村で134人の議員がいるが、合併すると34人になる。町民の意見が反映し難くなるという心配をされるが、13年度に発足した各地区の自治振興会こそ町民の意志を行政に反映すべき組織にしなければならぬ。地域からの陳情などは自治振興会から行ってもらうことになる。

議会議員は、住民の代表として町の意思決定をする重大な職責を持っている。

出席者：合併については、今どこまで進んでいるのか。

町長：今のところ砺波地域においては白紙だが、国からの支援措置が盛り込まれてい

る合併特例法が平成17年3月までの時限立法である。それに間に合うよう16年の秋を目途に合併したい。

出席者：兵庫県篠山市のアンケート結果で10%が合併しなかったほうが良かったといっているが、具体的にはどのようなことでそう言っているのか。

町長：篠山市の1割の反対意見は、建築確認申請や農業委員会に出す書類などが今までは地元の役場でよかったのに、本所まで行かなくてはならなくなり、不便になったとか、支所には地元の事を知らない職員がいて話しづらいなどの意見があった。

出席者：合併すると周辺になる庄川町内の道路整備が後回しにならないか。

町長：合併する際には、新しい市の「まちづくり建設計画」を立て、約束事を決めて、合併することになる。今、計画している道路整備にかかるところは最低限盛り込まれなければならないと思う。

出席者：役場職員も専門性を高める努力が必要である。資質の向上(レベルアップ)をしなければならぬのではないのか。



町長：職員の資質の向上については、合併とは別に日々努力しなくてはならないと思っている。しかし合併すれば組織も大きく専門分野を明確にするため、専門職員を採用できる。

出席者：合併して一番心配されることは、行政サービス面である。災害が発生しても、その対応が遅れるのではないのか。

町長：大きい市になった場合、緊急時に備えて支所の中にも適材適所として拠点的な部署を置くべきだと考えている。予想されるデメリットは、合併協議会で検討していく。合併先進地である兵庫県篠山市では、窓口や災害などを担

当する課の一部は旧の役場に支所として残されていた。

出席者：専業農家であるが農協の合併が良いところが何もなかった。合併と聞くと良いイメージがない。

町長：JAは民間であり、サービス面のほかに収益面も考えて合併している。行政の合併は営利が目的ではないので、比較対象にはならないと考えている。

出席者：青山墓地付近での斎場計画については、合併すれば必要ないと思う。

町長：合併すると砺波市の斎場が利用できるという意見もあるが、砺波市は4万人に相当する施設を建設したものであることや、砺波市斎場を



活用するにしても井波庄川の住民を受け入れるだけの増築が必要であること、砺波市福山区の住民の気持ちも無視できない。いずれにしても庄川と井波の町民を対象とした

施設は必要であり、庄川と井波対象住民の近くで検討すべきであると考えている。

出席者：現在の役場はどうなるのか。

町長：市役所の支所となり、存続させることになる。

出席者：合併すると役場が支所になるということを聞いたが、町内の職員が残って欲しいと思う。老人の方が増えるし、「どこのだれだ」とわかる人が残って欲しい。

町長：支所には地元職員を配置願いたいと思っている。大事なことだと思っている。

出席者：合併について賛成か反対かと聞かれれば反対である。合併して大きくなったからといって財政的な体力がつかうとは思えない。町の財政が厳しいとはいえず、都会よりも公共施設が整備されていて充実しているし、利用料も安いので最高である。合併して絶対良くなるという保障は無い。町民の幸せとは何か。公共料金が安いことが幸せなのか。

自分の子どもたちが、保育所から中学校まで同じ友達と通うことができる。こんな幸せなことはない。大きなまちになるとコミュニケーションがなくなる。人づくり、人がつくれるまちづくりに力を注いでいただきたい。

町長：市町村合併は国の大きな流れである。現在ある3,200余りの自治体を1,000程度にするという目標もあるらしい。人口規模は10万人程度が良いのではないかと考えている。

建物などを建設する時代は終わった。これからは造ったものをいかに有効利用するか、あるいは維持していくかというソフトの時代である。

人づくりの重要性は感じている。学校が悪いとか、文部科学省が悪いとかではなく、家庭、地域みんなで子どもを育てていく時代である。

総合計画に 関する意見

出席者：古上野住宅団地の拡張計画はあるのか。

町長：積極的には計画をしない。種田地区は種もみの産地であり農業振興地域なので、やむをえない事情で農地を手放される方から、譲り受けている。

出席者：京都の観光地は紅葉がきれいでたくさん人が来る。庄川峡の紅葉は、黄色が中心で赤色がほとんどないので、モミジを植えてもつと赤色を増やしていけばよいと考えている。

町長：庄川町には、ユズやエドヒガンザクラなどがあるが、モミジがあればもつと良い。町としても積極的に支援していきたい。

出席者：「庄川の清流」を全面に出していくことが良いのではないが、庄川温泉郷に入ると、心の安らぎを感じられる雰囲気は大切ではないか。そういう意味では、モミジを植樹することは良い取り組みだと思ふ。

道路もきれいに整備されているし、ホタルももつと乱舞するような町になれば良い。

町長：庄川温泉郷はきれいなモミジを植えたり、ホタルの里づくりについての取り組みを今後も行う。



出席者：年々子どもが減り、県立高校も減っていく。大学など、教育費にはお金がかかる上に、就職も厳しい。砺波広域圏内に短大や専門学校などを誘致できないか。

町長：広域圏で人口が10万人、小矢部市と福岡町が加わると15万人になる。15万人で高岡市と同じくらいだから、大学誘致も可能になるかもしれない。

出席者：人口増対策として宅地分譲の状況はどうか。

町長：町では100坪以上のゆつたりとした宅地を分譲している。古上野は120坪程で1坪60,000円から70,000円で分譲した。1千万円にもならない。都会



の人にしたらビックリするほどの金額である。完売している。旧駅前についてはあまり売れ行きが良くない。6対4の割合で町外からの転入者が多い。

出席者：今後、週休2日制になることを考えると、土日の保育体制も検討してほしい。安心して産み育てやすい環境づくりを力を入れて欲しい。

町長：町としては、少子化対策の充実を図るため、努めて子育ての良い対応が出来るよう検討している。

出席者：散居村や屋敷林などすばらしい景色、美しい自然の中で生活してきた。砺波市のインター付近はめざましい発展をしているが、反面、緑が少なくなり、美しい田園風景が損なわれているという見方もできる。

町長：散居村の景色、すばらしい田園空間。それに加えて、神社・仏閣が多く神木も多く残されていることもこの地方の特長である。民家を取り囲む屋敷林はどんどん減っているの、これらを保存するように対策を講じていかなければならないと考えている。

その他の意見

出席者：大阪で起きた小学生殺傷事件は本当に悲惨な出来事である。町でもあのような事件が起こらないように、その対策を考えてもらいたい。

町長：保育所など女性の職場が特に心配である。各保育所に最低1名の男性保育士を配置する必要があるかもしれない。もちろん、警察署とも連携を取り、現場職員で見回りも行って、地域のみなさんの協力、ボランティアなどでも必要になるかもしれない。

出席者：公共交通機関がほとんど通っておらず、とても不便である。交通弱者の足を確保してもらいたい。例えば、近隣市町村を結ぶ循環バスなどを運行できないか。

町長：今は、車社会が定着している。民間でバスを走らせても赤字になるので、運行できない。市町村合併したら、循環バスも可能になるかもしれない。

出席者：庄川町はボイ捨て条例はあるが、なかなか徹底されないのではないかと。

町長：町では今年から環境モニターとして2名の方を委嘱している。定期的に町中を巡回していただき、環境美化に努めている。また、標語を募集し啓発看板も設置しPRに努めている。

出席者：町に若い町医者が必要だと思う。町が実施している幼児の予防接種なども高齢者の町医者に不安を感じる。町の人口から考えると2人程度の若い医者がいて欲しい。

町長：庄川町は井波町・砺波市の総合病院にも近く位置的には良いところだと思う。是非、町に若い医者が来てもらいたい、なかなか難しい。各市町にある総合病院の適正化を考えると、早く合併した方が良く考える。庄川町には総合病院は必要ないと思う。

「21世紀まちづくり会議」の経過

回数	日程	参加者	参加人数
1	5月22日	種田地区40歳代男性	12名
2	5月28日	青島地区40歳代男性	10名
3	6月22日	雄神地区40歳代男性	10名
4	6月25日	中学3年生	14名
5	6月26日	東山見地区40歳代男性	8名
6	7月4日	雄神婦人会	20名
7	7月10日	東山見婦人会	18名
8	7月13日	青島婦人会	17名
9	7月18日	種田婦人会	15名
10	7月23日	雄神保育所父母の会	10名
11	7月24日	種田保育所父母の会	9名
12	7月24日	東山見保育所父母の会	11名
13	8月1日	青島保育所父母の会	8名
14	10月2日	種田地区30歳代男性	10名
15	10月9日	青島地区30歳代男性	8名
16	10月12日	東山見地区30歳代男性	7名
17	10月16日	雄神地区30歳代男性	10名
18	11月6日	種田地区50歳代男性	10名
19	11月7日	東山見地区50歳代男性	11名
20	11月16日	青島地区50歳代男性	9名
21	11月20日	雄神地区50歳代男性	9名
22	1月24日	観光関係者	11名

まちづくり会議での話し合いの中で、多くの皆さんが一番興味をもっておられたのは「市町村合併」でした。少子化・高齢化を迎えた今、市町村合併は避けておることのできない大きな問題となっています。「砺波地域合併に関する研究会」において、昨年11月に各市町村長に中間報告が示され、この程最終報告書ができました。

現在、本格的に合併を検討する市町村が集まり将来の新しい建設計画などの調整を行う「合併協議会」設置に向けた準備会が、助役と担当課長で構成されようとしています。「合併協議会」が設置されると皆さんが一番身近に感じられるメリット、デメリットを具体的に話し合えるようになります。

町では各地区の集まりや各種団体の会合に、市町村合併担当職員が出前講座を行っています。この機会に聞いてみたいことがありましたら、ご連絡ください。

私たちのことばかりでなく、将来に向けて私たちの子孫が、安全で安心した生活を送るためにも、これからの「庄川町」をみんなで考えましょう。

なお、まちづくり会議の詳しい内容については、町ホームページに掲載していますのでご覧ください。

ホームページアドレス <http://www1.tst.ne.jp/shogawa/>

シリーズ

市町村合併について考えましょう

10



要務「ガッペくん」

合併特例法があるから合併を急ぐではありません。しかし、行政が町民のために将来も安定した基盤を築くには、この法律を活用し新たなまちづくりのスタートに向けて、今一度考えてみましょう。

地方交付税ってどんな税金ですか。

「地方交付税」は本来地方税として集められるべき税金ですが、まずは国税として集めており、「所得税×32%、法人税×35.8%、酒税×32%、消費税29.5%、たばこ税×25%」を地方に回す税金、すなわち「地方交付税」としています。

地方交付税ってどんな役割を果たすものですか。

本来、財政力の豊かな地域から財政的に貧しい地域に資金をまわして各地域間の所得の再配分を目的として、国が国税の一部を地方に分配するシステムのことです。つまり、すべての地方自治体が等しくかつ適正な水準で自主的に行政サービスが行えるようにするための制度です。

合併することで交付税にどんな特例がありますか。

交付税の交付に当たっては、毎年市町村の面積や人口、世帯数などいろいろな項目で計算をしますが、合併特例法の期限内に合併した場合(平成17年3月31日まで)、特例的に、合併前の市町村が存続しているものとして計算され、その合計した交付額が保障される仕組みになっています。その後、11年目から5年間で徐々にその市町村の規模に応じて調整(減額)するという事です。

合併することで、コンピュータなどのシステムやネットワークの統一に要する経費、公共料金や公債費の格差是正の費用などは3年間は臨時的経費として追加交付されます。

合併特例債(借金)で行った事業においては、その借入れ金の元金利子償還額の70%は交付税で措置されます。(30%だけの負担で済みます)

将来は、交付税がどうなるのでしょうか。

現在のところ遠い将来のことまで誰もわかりません。最終的に合併することになるのなら、できれば国の支援を受けることができるうちに、その間に財政基盤を整え、より適正な住民サービスに向けて行政改革をしていくべきでしょう。

合併しなかったら交付税は減るのですか。

みなさんご存知のように政府報道では、地方交付税制度の見直しは基準とする10万人規模に近づけるよう検討されています。庄川町は7,300人余りですから一人当たりで比較すると行政経費が割高なため交付税を多くもらっています。しかしこれからは年々減額となるので、人口規模を大きくして、割高な経費を削減して住民サービスに回す努力をしなければなりません。

庄川町が将来も存続して今の行政サービス水準を維持するには、この交付税の減額分を補うためにも、これまで以上行政経費を節減しなければなりません

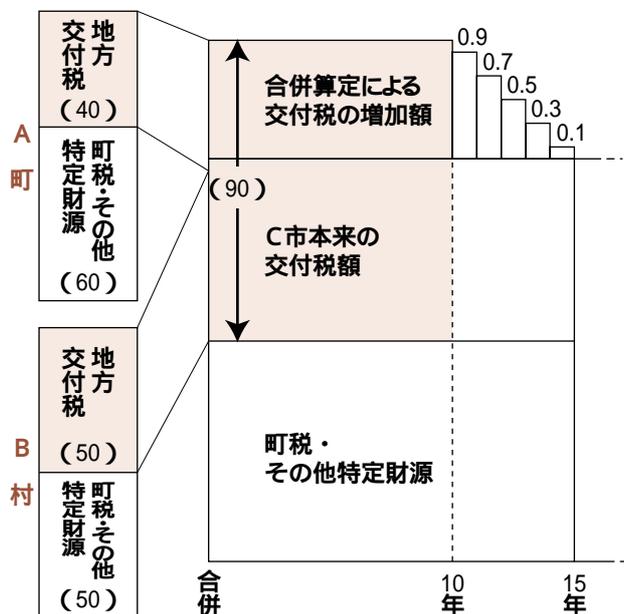
が、おのずと限界があります。今後さらに時代に応じて新たな住民ニーズ(要望)が生まれてくると考えられるので、これらのことを総合すると、将来、町民の皆さんに新たに税負担を求めなくてはならないことが予測されます。

今、地方交付税制度の問題点とは。

近年、国税収入は伸びず、地方交付税を交付するために国は税の不足分を借金して補ってきました。では仮に、国税で集めている一部の国税を全部地方に預けてはどうかと言われますが、人口が多い豊かな都市に所得税・法人税が集中し、地域の経済力の格差はいっそう広がってしまいかねません。つまり、現状の庄川町をはじめ大半の県や市町村は交付税という国からの「仕送り」なしでは、標準的な行政を自分で賄うことができないということです。

また自主財源がないのにもかかわらず、行政サービスの均衡が協調されていますが、努力した者も、しない者も同じということで、「努力した者が報われない。」といった交付税の再配分制度そのものが公平さを欠いていると指摘されています。こうした実態を改革しなければならないということが議論になっています。

A町とB村が合併してC市になる場合



行政がもつ悩み

完全学校週5日制について考えてみました。

平成14年度より完全実施

小・中学校で週5日制がスタートしたのは平成4年度で、最初は月1回でした。平成7年度からは月2回となり、毎月第2・第4土曜日を休みとされています。そして、平成14年度からは、完全学校週5日制が導入されます。学校週5日制の目的は、学校、家庭、地域社会が一体となり、自然体験や社会体験などを通じ、子どもたちに豊かな心やたくましさ育てようとするものです。土曜日が休みになることで生まれる「ゆとり」の中で、子どもたちに「生きる力」(自ら行動し他人を思いやる心や、たくましい身体と体力)を育むことができる施策が重要であり課題といえます。

生きる力の育成

「生きる力」は学校での学

習や、親子のふれあい、友達との遊び、地域の人々との交流など様々な体験や活動を通じて育まれるものです。しかし、今日の子どものための体験活動は少子化、核家族化などにより大変貧弱なものとなつてきています。日常的な生活から様々な体験を得ることができた時代とは違い、現代社会においては、あえて子どもたちに活動や体験の機会を提供することが必要となつてきています。

学校では

学校では、週5日制が子どもたちにとって「ゆとり、ふれあい、体験」の充実ができるものであつてほしいと願っています。

そのために次のような指導を考えています。

- ・ 家庭での過ごし方として、家族とのふれあいや家事の

手伝いの大切さについて指導する。

- ・ 地域行事に関する情報を提供し、その参加について奨励し援助する。
- ・ 休日には課題を持って過ごすよう指導する。

また、教員に対しては各地域の行事に参加し、できるだけ地域の教育力の一助となつて活動するようすすめていきます。

なお、中学校では、平成14年度より原則として、部活動は土曜日の午後に行うこととし、日曜日は自分の計画に従つて有意義に過ごすよう指導することとしています。

家庭では

学校週5日制が4月から開始されることについて、保護者の方はどのように考えておられるのでしょうか聞いてみました。

- ・ 土曜日は仕事なので、近くに祖父母もいないため仕事の調整がつかない時には子どもだけで留守番することになるので心配です。

- ・ 授業時間が減ることによって、これからの学習の進み方が早くなり、今まで以上

に学習が難しくなるのではないかと心配です。

- ・ 学校週5日制だからといって、行事ばかりするのはどうかと思います。親もたいへんですが、家庭中心の学校週5日制であつてほしい。
- ・ 家庭や地域の役割が重要であることは言うまでもないが、学校としても部活動の充実を検討してもらいたい。

「ゆとり」も大切であるが、「鍛える」ことも大切だと思えます。

- ・ 子どもが得意としている分野を伸ばす良い機会だと考えています。しかし、そのためには地域や学校の協力が必要だと思えます。

と、様々な意見がありました。が、地域への期待が大きいようです。

学習機会の提供

町教育委員会では、現在、学校週5日制の対応策として、子どもを対象とした講座・教室を開設しています。例えば、身近な材料を使い工作をする「子どものつどい」、文化サークルとしての「茶道サークル」、楽しみながら科学を学習する「子ども科学教室」な

ど、子どもが興味を示すような内容となるよう工夫を凝らしています。しかし、教育委員会で開催する講座や教室は、学校週5日制の対応策のなかでは補足的なものと考えており、地域の教育力に委ねることが理想的な姿であると考えています。

今後の対応

休日の過ごし方については、家庭でのふれあいを大切に、子どもたちが自主的に自分の時間を自己管理できるよう指導していくことが大切です。また、子どもたちの「生きる力」を育むためには、できれば子どもたち自身が、自立的に立案することが望まれ、それを側面から大人が支援していくことが理想だと考えられます。

そのためには公民館活動、児童母親クラブなどの地域活動、またスポーツ少年団などを中心に、地域の子どものは地域で育てることが必要となり、今後、学校及びPTAと十分協議しながらすすめていくことが課題だと考えています。

国際

No.84

ジョンの イギリスあれこれ!

イギリスの言葉について聞いてみました。

Q：日本語には方言やなまりがたくさんありますが、英語はどうですか？

A：日本語と同じように、英語にもなまりや方言があります。話し方を聞いていると、どこの地方の人が、またどんな職業の人が分かります。アメリカやオーストラリアでも英語の話し方に違いがありますが、イギリス程方言に大きな違いはありません。

Q：英語はいつから使われるようになったのですか？

A：現在の英語が使われるようになったのは、16世紀頃からです。それ以前は、ずいぶん違った言葉を使っていました。英国はイングランド、スコットランド、ウェールズ、北部アイルランドの4つの地域で成り立っていますが、それぞれの地域が古くから伝わる言葉を大事にしています。

Q：日本語についてどう思われますか？

A：日本語を勉強すればするほど、富山弁は標準語よりかなり違っていることが分かってきました。富山弁にはとても苦労していますが、「習うよりは慣れる」ということわざがありますが、英語に親しむ機会を設け、積極的にアタックしてみてください。

毎日が新鮮な一年間でした。

むかわ

No.70



◀たんぼぼキャラクター
「ぼぼちゃん」

日本一のたんぼぼ群生地「鶴川町」は私達家族に様々な感動を与えてくれました。

本物の「ししゃも」。内閣総理・農林水産大臣の各賞を受賞した「スズマル大豆」。全道肉用牛共進会で最高位賞を受賞した「黒毛和牛」。競走馬の晴れ舞台、G Iレースを制した鶴川町産の「軽種馬」。全道切花品評会で会長賞を受賞した「花き」。中小企業庁長官賞を受賞された「商工会女性部」。全道大会で活躍された「野球スポーツ少年団」。日高・胆振地区で団体優勝の「中学校女子剣道部」。全道大会個人戦で上位入賞の「中学校柔道部」。全国・世界大会に出場された「ベタンク競技」の皆さん。高等学校文化連盟苫小牧支部で最優秀賞の「鶴川高校吹奏楽部」。欽ちゃんの仮装大賞で満点の「田浦小学校」。冬季オリンピックに出場された「田畑真紀選手」。21世紀枠で甲子園に出場する「鶴川高校野球部」など、これらの輝かしい功績は、各々の「得意分野」を伸ばそうとする前向きな取り組みと、それをサポートする町民の盛り上げがもたらしたものだと思いました。

この貴重な経験を故郷で生かせるように努力したいと思います。鶴川町の皆さんには「一年間お世話になりありがとうございました」という気持ちでいっぱいです。

鶴川町派遣職員 古澤孝之(庄川町総務課主任)

交流日記

カンパレ!

姉妹都市鶴川町

鶴川高校野球部

姉妹都市「鶴川町」の鶴川高校野球部が、3月25日から開催される「全国選抜高等学校野球大会」に出場されます。おめでとうございます。鶴川高校野球部の活躍は鶴川町の明るい話題であり庄川町にも勇気と希望を与えてくれています。

なお、甲子園出場に向けて鶴川高校野球部甲子園出場協賛会が発足されました。鶴川高校野球部の甲子園での一層の活躍を期して、町民皆様のご支援をお願いします。

「第74回選抜高等学校野球大会出場支援寄付金」ご協力について

寄付金は皆さんのお志ですが、一口1,000円以上となっていますのでご支援をお願いします。

問合せ 総務課 ☎82-1901

「ぼくたち、わたしたちも応援しています」

鶴川高校野球部には、小学生友好交流事業で庄川町を訪れた片山和祐君(1年)がいます。

庄川小学校3年生から6年生の子どもたちは、「甲子園でがんばって」という願いを千羽鶴に託し、休み時間や昼休みを利用して一羽一羽心を込めて折りあげています。また、保育所5歳児の子どもたちは応援旗を作っています。

甲子園大会に、みんなで応援に行きましょう。がんばれ鶴川高校野球部!

ちよと一言

『学校週5日制 導入について』



町政モニター
藤井 秀嗣

今年4月より小・中学校や高校の授業日数が週5日となります。文部科学省が推進する「ゆとり教育」の一環で、これまでの知識詰め込み型教育を見直し、授業にかわる時間を家族(家庭)中心に過ごすなど、休日を有効に、且つ効果的に利用しようというものです。

現在、土曜日休日のうち何日かを使い、小・中学校の先生方のボランティアにより「科学教室」などが行われており、子どもたちにはたいへん好評のようです。また、各種団体の活動の中で子どもたちとともに過ごす取り組みを実施しようという計画があるようです。

町でも核家族化、夫婦共働き、少子化が進んでおり、子どもを取り巻く生活環境も様変わりしています。親子といえども今まで通りの接し方は、お互いに理解しあえないこともあるかもしれません。

家庭という一単位では何事も限界があると思います。家庭という縦系に学校・地域という横系を張り、「ゆとりネット」なるネットワークを作り、「町の子どもは、町民全員の子ども」という意識で導いていく気持が必要ではないでしょうか。

家庭、学校、地域という三者がバランスを取って「ゆとり教育」を実践していくことは当然の事ながら、この三者が意見交換会や勉強会を開くなど、親の方も子どもたち以上に「ゆとり学習」をしなければならぬと考えています。

工事等入札結果 (1/21~2/20)

工事期間中は、町民の皆さんにたいへんご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

番号	工事等名	工事箇所	工期	請負金額(円)	落札業者	備考
1	町道第12号線改良工事 第12工区	金屋	2月1日から3月29日まで	23,467,500	㈱川上建設	庄永閣前 上田千之宅前
2	町道第12号線消雪装置設置工事	金屋	2月1日から3月29日まで	8,242,500	藤森工業㈱	ウッドプラザ ~三楽園
3	町道第12号線改良工事に伴う残土処理工事 その2	金屋	2月4日から3月18日まで	7,287,000	庄川興業㈱	3区公民館下
4	町道第22号線外1路線污水管渠布設工事	高儀新	2月4日から3月20日まで	6,961,500	高田産業㈱	嶋田庄三宅 ~築場はな宅
5	町道第9号線配水管布設工事	金屋	2月1日から3月27日まで	3,570,000	フジイ設備㈱	ふなの里 ~松本忠義宅

県広報コンクール(町村II部)で「特選」を受賞

- ・ 広報紙部門「広報しょうがわ」(12月号)
 - ・ 映像部門 町紹介ビデオ「庄川が育てた芸術と文化」
- これからも皆さんに親しんで読んでいただけるような広報紙づくりに心がけていきたいと思えます。また町紹介ビデオ「庄川が育てた芸術と文化」等の貸し出しを行っていますので、どうぞご覧ください。
- 問合先 企画調整課 ☎82-1905

安全は、 ゆるやすしさ まつゆとり

4月6日(土)から15日(月)までの10日間、全国一斉に「春の全国交通安全運動」が展開されます。

この運動は、交通安全意識の高揚により、交通事故防止の徹底を図ろうと実施されるものです。

期間中の4月7日(日)午前7時30分から町民体育センターにおいて、町民総参加のもと「交通安全町民大会」を開催します。

町民の皆さんは、この運動を契機に正しい交通ルールとマナーを実践し、交通事故のない明るいまちづくりに努めましょう。

交通安全標語が決まりました

井波警察署区域交通安全協会庄川支部と町交通対策協議会では、交通ルールとマナーを守り交通事故のない明るいまちづくりを推進するため、小学生(高学年)と中学生を対象に交通安全標語を募集しました。

なお、今回最優秀賞となった標語は、種田地区に設置する交通安全啓蒙看板に活用させていただきます。



小学生の部 最優秀賞

目指そうよ 事故のない町 庄川町 柴田 麻美(6年)

優秀賞

シートベルト しっかり守ろう 自分の命	沖田 明子(5年)
気をつけよう スピード出しすぎ 事故のもと	上田沙希穂(5年)
庄川の 安全守る 交通ルール	棚田結希恵(6年)
あぶないよ みんなに声かけ 交通安全	菊池 裕司(6年)
安全は、一人、一人の心がけ	藤崎 美果(6年)

中学生の部 最優秀賞

安全は 一人一人の 思いやり 野村 仁志(2年)

優秀賞

交差点 気持ちのゆるみが 事故のもと	藤井 祐輔(2年)
我先に 急ぐ心が 赤信号	藤井美由紀(2年)
シートベルトは あなたを守る 大事な思いやり	武田 史織(2年)
ルール、マナー 守って暮らそう 住み良い庄川	千秋 俊尋(2年)
守ろう 交通ルール 君の未来のために	米道 早紀(2年)

人事異動

〔昇格〕2月1日付
第1分団 班長 浦 明

〔入団〕1月15日付
第1分団 団員 木村 吉秀
第1分団 団員 中村 武男
第1分団 団員 織田 武男

〔退団〕平成13年12月31日付
第1分団 団員 宅間 孔一

〔退団〕1月31日付
第1分団 班長 水本 俊一



E 女性消防団員を募集します

男女共同参画の基本理念のもと、21世紀に向けた地域防災の強化と消防団の活性化を目的として、女性消防分団を結成します。

地域の消防団員として活動いただける女性の方を次のとおり募集します。

募集人員 ・東山見、青島地区 各5名
・雄 神、種田地区 各4名 (計18名)

応募要件 町に在住する18才から55才までの健康な女性の方

募集期間 3月20日(水)まで

活動内容 原則として男性団員と同様としますが、母性保護の観点から消火活動と水防活動には一定の制限を設ける。

- ・町民への火災予防、防災などの広報啓発活動
- ・町民への救急応急手当法の広報啓発
- ・災害弱者宅の防火相談、防火指導
- ・災害時における被災者の避難誘導、救護
- ・各種消防訓練、行事などの参加

採用後の待遇 ・年報酬、出勤手当支給
・制服等一式支給
・公務災害補償制度、共済制度、退職報奨金制度、表彰制度あり

応募方法 総務課または井波庄川消防署まで電話で申し込んでください。

問 合 先 井波庄川消防署 ☎82-0119

スポーツ

第10回県民スポーツ・レクリエーション祭冬季大会「雪のシンフォニー in 庄川」

と き 1月27日(日)

ところ 町民運動場及びその周辺

町民スノーフェスティバル

丸太乗り(団体戦) 1位 一青会 2位 19区E

ストラックアウト(団体戦)

1位 ど根性組 2位 上野クラブ

雪上ゲートボール大会

第2コート 2位 庄川稲穂

スノーバレー大会

Aコート 1位 庄川一般男子

Cコート 1位 ヤング庄川 2位 庄川男子バレー

Dコート 1位 京部家 2位 庄川ママさん

雪上ペタンクティール大会

シングルの部 1位 島田 外吉 2位 上野 勉

ティールの部 2位 斉藤 幸二

雪上グラウンド・ゴルフ大会

16歳未満の部 1位 西元 大樹 2位 山本 翔平

みんなでチャレンジGO “GO”

1位 伏木 貴太 2位 西川 明宏

わんぱくゲレンデ

小学生の部 1位 伏木 貴太 2位 中島 悟

親水の里ウォークラリー

親子オープンの部 1位 伊藤組 2位 中田組

第38回町民スキー大会

と き 2月3日(日)

ところ 閑乗寺スキー場

障害物レースの部

小学1・2年 1位 村井 大介 2位 村井 祐紀

タイムレースの部

小学3・4年男子 1位 西野 隆

小学3・4年女子 1位 台蔵 晴香 2位 石森しおり

小学5・6年男子 1位 西野 圭亮 2位 齋藤祐太郎

小学5・6年女子 1位 滝谷美紗子 2位 台蔵 史織

中学男子 1位 野村 仁志 2位 石森 佑輝

一般男子A 1位 清水 康光 2位 山田 和俊

一般女子A 1位 横川美也子 2位 南 聡美

一般男子B 1位 浦 浩一 2位 石森 孝幸

一般男子C 1位 滝場 謙三 2位 和田 定夫

スノーボード競技の部

一般男子 1位 倉田 英毅

第3回町民ソフトバレーボール大会

と き 2月5日(火)~6日(水)

ところ 町民体育センター

参加チーム13チーム

1位 31区 2位 25区A

第11回庄川清流杯北信越高校剣道新人大会

と き 2月9日(土)~10日(日)

ところ 町民体育センター

男子団体 1位 高朋高校(富山県)

2位 新潟商業高校(新潟県)

女子団体 1位 新潟明訓高校(新潟県)

2位 松商学園(長野県)

第6回県スノーボード選手権

と き 2月17日(日)

ところ 大山町極楽坂スキー場

スラローム男子の部

1位 倉田 英毅

がんばれ、井波高校ソフトボール部! 全国大会に町から3人出場

3月21日から東京都で開催される「全国選抜記念大会」に、井波高校ソフトボール部の、中村真由さん(2年・金屋)、大丸ひとみさん(1年・金屋)、荒井智子さん(1年・金屋)の3人が出場されます。3人は2月の大阪遠征や、またピッチャーの中村さん、大丸さんは庄川SC(成年女子ソフトボールチーム)との練習にも参加し力をつけてきました。

「全国から48校が集まり、大会のレベルはとても高いけど、まず1勝できるように頑張りたい」と、とても仲良さそうに話してくれました。



左から荒井さん、中村さん、大丸さん



おめでとうございます
島田かのさん 満百歳

2月6日に満百歳の誕生日を迎えられた島田かのさん(青島)に、町や社会福祉協議会をはじめ、町老人クラブ連合会、権左島長寿会からお祝い状や、お祝いの品々が贈呈されました。あわせて、富山県知事からのお祝い状、お祝い品の伝達も行いました。

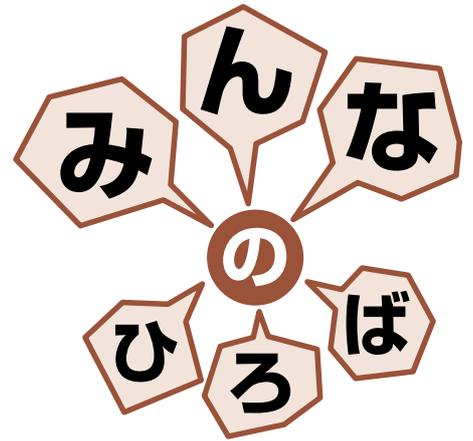
長寿の秘訣は、食べ物の好き嫌いがなく、夜も9時に寝るといふ規則正しい生活、そして何よりも趣味を持ってお過ごしになり、特に「相撲を見るのが一番の楽しみです」と、元気な声でお話してくださいました。

島田さんは、町では最高齢の方です。町民みんなでこの長寿をお祝いしましょう。いつまでもお元気で過ごしてください。

収蔵 - 庄川美術館 -

この度、彫刻家齋藤尤鶴さんより大作を作るための試作(石膏)21点と素描218点をご寄付いただきました。

ご厚志に心より感謝申し上げます。



皆さんからの身近な情報、地域の活動など、町の情報の提供をお待ちしています。

企画調整課 ☎82-1905

県農業振興賞受賞
米部門(種子生産者)

日本一の生産量を誇る庄川町特産の水稲種子を昭和36年より生産されておられる、倉田信治さん(五ヶ)が富山県農業振興賞を受賞されました。倉田さんは経営コスト低減のため五ヶ機械利用組合の設立にもご尽力され、現在は組合長として水稲、大豆種子の品質向上のため活躍されておられます。

今後、益々のご活躍をお祈りします。





もちにこだわった2日間
「庄川もちもち遊楽」2万人で賑わう

2月23日(土)・24日(日)の両日、水記念公園でもちもち遊楽を開催しました。庄川特産の「きね」と「うす」を使ってのつきたてのおもちや、のしもちなどを求め大勢の家族連れで賑わいました。

純真無垢なお雛様が
届きました



ひな祭りを前に、大島藤子さん(東京都・青島出身)より、東京木目込人形「立雛」をいただき、役場正面ロビーに飾らせていただきました。立雛は大島さんが丹精こめて作られたもので、かわいらしいお顔に役場を訪れる皆さんの心をなごませてくれました。

「第5回川の情景を詠む短歌」庄川大賞、庄川賞が決まりました

1 一般の部(出詠数365首)

庄川大賞

庄川の河口は広し晴れの日のさざ波白く海と向きあふ

庄川町金屋

山本 知子

庄川賞

船べりに倒れるやうに体伏し船頭の竿川を押しゆく

岐阜県

中田みよ子

庄川の浅瀬にあまた相寄りし鮎きらきらと背をかえす見ゆ

大沢野町

光塚 誠一

2 小・中学生の部(出詠数292首)

庄川大賞

祖母待つ町へと続く川沿いを歩いて向かうワクワクとして

砺波市鷹栖小学校

柴田 豊和

庄川賞

動かさる下肢は鉛のように冷え地図の大河に今を旅する

長野県小布施中学校

成沢 未来



庄川大賞を受賞された
山本さん

選者 歌人 佐佐木幸綱氏

(早稲田大学教授)



保育所

うれしいなー、もうすぐ1年生

2月8日(金)4月から小学校へ入学する子どもたちが期待に胸を膨らませ半日入学を体験しました。1年生のクラスに入り算数の授業見学では、最初は緊張していた子どもたちも、昨年来まで保育所で一緒に遊んでいたお兄さんやお姉さんの姿を見つけて、「あっ、ちゃんやー」と懐かしそうに声をあげ、すっかり教室にうちとけた様子でした。さっそく子どもたちはお兄さん、お姉さんの大きな椅子に座らせてもらい色板で形を作っていました。ふねやさかなの形は少し難しかったようですが、お兄さん、お姉さんに優しく教えてもらい、1年生から「がんばったね」と、がんばりシールを貼ってもらうと、うれしそうで気分はまるで1年生のようでした。2年生は「仲よし集会」で迎えてくれました。

歌やクイズを楽しみ、また小学校の紹介もしてもらいました。縄とびの二重飛びやクロス飛びをみて「すごい、どうやってするがいる」と、びっくりしていました。

給食は、ランチルームで3年生と一緒に会食をしました。今までこんな大きな部屋で、こんなたくさんの人たちと給食を食べたことがなかった子どもたちは、少し緊張気味でしたが、おいしい給食を食べ始めると、会話が弾みおかわりをする子どももいました。

子どもたちは、小学校で見たり体験したり、またお兄さんやお姉さんに優しくしてもらったことを胸に、4月からの学校生活に大きく胸をふくらませています。

● 学校の勉強ってむずかしいのかな？
ちょっとドキドキ...



● 「お魚の形ができたよ」
「がんばったね。シールをはってあげるね」



● なかよし集会では、
2年生が楽しい歌で
迎えてくれました。

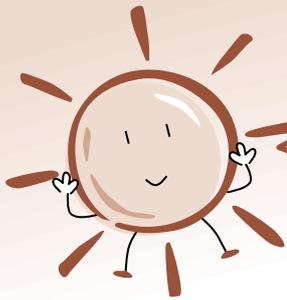
● 「この色板をここにおいて...」と
お兄さんに優しく教えて
もらいました。



● 「チキンライスどうぞ」
「ありがとう、おいしそうだね」

● 「ランチルームって
広いね。給食おいしく
ておかわりしたよ」





小学校



元気っ子

好天に恵まれ楽しんだスキー学習

雪があるかどうか心配した閑乗寺高原スキー場での2、3年生のスキー学習。天候が気になった、たいらスキー場での4、5、6年生のスキー学習。いずれの日も絶好のスキー日和となりました。庄川牛嶽スキークラブ延べ23名の指導者のご協力により、けがをすることなく、楽しく充実したスキー学習となりました。

この日に備えて初めて参加する2年生の子どもたちは、あらかじめ学校の中庭でスキーの着脱、滑走など慣れるための練習をしました。

当日リュックを担いで登校するどの子の表情も輝いて見えます。

さて、各班に分かれて学習の始まりです。

子どもたちの感想を紹介します。

- ・わたしは、左に曲がれなくてこけてばかりでした。ちょっとは曲がれたけどやっぱりこけました。そのうち先生の話聞いてやってみ

ると少しずつ左にも曲がれるようになってきました。

- ・先生に「うまいよ」と言ってもらえて、うれしかったです。
 - ・3班で急なところを滑るのではないかと心配でした。案の定、急なところで怖かったです。1回目はたくさん転んだけど、4回目には転ばずに滑ることができました。スキーがもっと好きになってきました。
- 一人ひとりの心も晴れ晴れとした一日でした。



もうすぐ中学生

2月16日(土)、小学校6年生と保護者の皆さんが、中学校に集まりました。中学校では、今年の入学説明会をより充実したものにするために、さまざまな工夫をして新入生を迎えました。

最初のプログラムは、学習参観です。6年生の親子は、中学生の学習活動の様子を興味深そ



うに見てまわりました。

その後、ランチルームで校長が「みんな、元気で入学してくるのを楽しみに待っています」とあいさつをされました。4月からの学校生活に不安を感じていた子どもたちも、この一言で急に目が輝いてきたようでした。また、校外学習や体育大会などの様子を、中学生がたくさんの写真を使って説明するなど、具体的で分かりやすい入学説明会となりました。

6年生の子どもたちに感想を聞いてみました。

- A 君：英語は難しそうだけど、知っている単語もあったので勉強が楽しみです。
- Bさん：琴をひく授業があったので、びっくりしました。みんな上手でした。
- Cさん：むし歯を早く治して、中学生になります。
- D 君：僕はスポ少で野球をしています。中学生になっても続けたいです。
- E 君：先生方も先輩も優しくそうなのでよかったです。

Book

3/5 ~ 4/5

おすすめの一冊！ ■図書館■

「陰陽師 龍笛ノ巻」
夢枕 獏 著



若き陰陽師・安倍晴明と笛の名手・源博雅が、平安の都の闇にはびこる悪鬼、怨霊と今、対峙する…。呪に結ばれし者たちの運命やいかに。人間の心の脆さと、妖しきものたちの儚さが胸を打つ。

新着図書

小説 抜れ屋敷の利純	森 博嗣
松本美ヶ原殺意の旅	西村京太郎
目下の恋人	辻 仁成
レッスズ	谷村 志穂
皆なき者	野沢 尚
エッセイ 夢の権ごぞんぶらこ	田辺 聖子
一般書 わが人生の時の人々	石原慎太郎
僧多聞柔軟心のすすめ	僧 多聞
すぐに引けるやさしい手話の辞典1700語	田中のり子
児童書 パオちゃんのおせんたく	なかがわみちこ
しりとりにくい	フジイランソウ

ほか多数

この他の新着図書は、町ホームページで紹介しています。

開館時間

火～木曜日	9:30～18:00
金曜日	9:30～20:00
土・日曜日	9:30～16:00
休館日	
月曜日	4日、11日、18日、25日
振替休館	22日
年度末休館	31日

火の用心 7つのポイント

- 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
- 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 風の強いときは、たき火をしない。
- 子どもには、マッチやライターで遊ばせない。
- 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- ストーブには、燃えやすいものを近づけない。
- 各用水が水止めのため減水します。火の元には十分に注意しましょう。
- (水止め期間3月21日～26日)

21	
22	法律相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 小学校修了式 9:00～ 小学校体育館 中学校修了式 9:00～ 中学校体育館
23	
24	
25	中国語講座 19:30～ 農村環境改善センター
26	
27	一般相談 13:30～15:30 農村環境改善センター
28	保育所卒園式 < 9:30～ 東山見・青島保育所 10:30～ 雄 神・種田保育所
29	
30	
31	
4/1	集合税第10期納期限
2	
3	小学校始業式 9:00～ 小学校体育館 中学校始業式 9:00～ 中学校体育館 保育所入所式 < 9:30～ 東山見・青島保育所 10:30～ 雄 神・種田保育所
4	小学校入学式 10:00～ 小学校体育館
5	中学校入学式 10:00～ 中学校体育館

くらしのカレンダー

3/5	中国語講座 19:30～ 農村環境改善センター
6	障害者相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 行政相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 一般相談 13:30～15:30 農村環境改善センター
7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ジョンさんのEnglishレッスン参加者募集</p> <p>日 程 3/5.12.19.26(火) 19:30～21:00</p> <p>場 所 ふれあいセンター</p> <p>講 師 町外国語指導助手 ジョン・ショート</p> <p>申込先 教育委員会教務課 TEL82-5007 FAX82-6431</p> <p>E-mail bunkashinko@town.shogawa.toyama.jp</p> </div>
8	
9	
10	
10	
11	
12	子育て相談 13:30～15:30 農村環境改善センター
13	介護相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 一般相談 13:30～15:30 農村環境改善センター
14	女性問題相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 住宅改造相談 13:30～15:30 農村環境改善センター
15	人権相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 中国語講座 19:30～ 農村環境改善センター
16	
17	雄神地区山間部埋蔵文化財総合分布調査 8:30～15:00 雄神山間部周辺
18	中学校卒業式 10:00～ 中学校体育館
19	小学校卒業式 10:00～ 小学校体育館
20	行政相談 13:30～15:30 農村環境改善センター 一般相談 13:30～15:30 農村環境改善センター

日曜・祭日連絡医院

(診療時間 午前9時～午後5時)

一般診療

3月10日(日)	石黒外科医院(福光)	☎52-3800
3月17日(日)	金子医院(福光)	☎52-0800
3月21日(木)	くぼクリニック(福野)	☎22-7799
3月24日(日)	佐伯医院(福光)	☎52-0689
3月31日(日)	柴田医院(福野)	☎22-2011
4月7日(日)	鷹西医院(井波)	☎82-3231
歯科診療		
3月10日(日)	高田歯科医院(砺波)	☎32-2153
3月17日(日)	フェリス歯科医院(砺波)	☎32-3904
3月21日(木)	さとう歯科クリニック(砺波)	☎32-9995
3月24日(日)	田守歯科クリニック(砺波)	☎34-7108
3月31日(日)	澤越歯科医院(砺波)	☎34-8280
4月7日(日)	中尾歯科医院(福野)	☎22-2489

健診・相談・予防接種のお知らせ

行事名	対象者	日 程	受付時間	実施場所
3か月児健診	H13.12月生	3月19日(火)	午後1:00～1:30	砺波保健所
健康相談	希望者	毎週金曜日	午前9:30～12:00	保健センター
三種混合 予防接種	H13.1～10月生	4月1日(月)	午後1:00～2:00	保健センター
	H13.11～12月生	4月4日(木)	午後1:00～1:30	

子ども放送局 番組予定

- 3/9 「あこがれの職業」
(土) 命を守る・消防士の世界
- 3/23 「スポーツ」
(土) スリルと冒険にみちたラリードライバー

時 間 10:30～15:30
場 所 図書館 児童室

たしかめて、
火を消してから
次のこと
(全国統一防火標語)

全国春の火災予防運動
3月20日(水)～26日(火)

日曜議会を開催します

町議会では、開かれた議会」を目指し、3月議会定例会本会議2日目に日曜議会を開催し、一般質問を行います。

一人でも多くの町民の方に町政に対する関心をもっていただくため、また、仕事などで平日議会を傍聴できない方も、ぜひこの機会に傍聴してください。

なお、本会議場は傍聴席が30席ですので、先着順に整理券を発行します。議場に入場できない方は、福祉センター3階ホールにおいて大型スクリーンによる放送も行いますので、ぜひご覧ください。

本会議初日

3月8日(金) 午前10時

議場

町政報告、提案理由説明

本会議2日目

3月10日(日) 午後2時

議場

一般質問

建設委員会

3月11日(月) 午前10時

3階会議室

総務委員会

3月12日(火) 午前10時

3階会議室

本会議(最終日)

3月15日(金) 午後2時

議場

委員長報告、質疑、討論、採決

休会

3月9日、13日、14日

問合先 議会事務局
☎ 82 5777

固定資産台帳の縦覧について

固定資産台帳は、本年1月1日現在で、町にある土地・家屋の評価額を所有者ごとに登録したもので、平成14年度固定資産税の基本となるものです。

縦覧期間は次のとおりです。

期間 3月20日(水)まで

場所 役場財務課

*縦覧の際には、印鑑をご持参ください。

問合先

財務課 ☎ 82 1903

庄川合口堰堤改修工事に伴う協力について

平成16年3月(予定)までの期間、庄川合口堰堤の操作橋及び管理橋を改修(県工事)します。工事期間中、何かとご迷惑をおかけしますが、ご協力を願います。

交通規制

規制期間

平成14年3月末まで(予定)

時間 8時～17時

内容 車道片側通行(場所は図 1)

工事用車両の通行には十分注意しますが、町民の皆さんも、交通安全に心掛けてください。

問合先 砺波農地林務事務所
☎ 32 8127

産業建設課
☎ 82 1904



軽自動車の廃車手続きについて

軽自動車の賦課期日は4月1日です。廃車の手続きは3月29日までにまいしょう。

町ナンバー

原付バイク、コンバイン、トラクターなどは役場窓口へ

県ナンバー

軽自動車、大型バイクなどは自動車販売店または県自動車協会(富山市藤木52

1 ☎ 076 424

6420)へ

必要なもの

ナンバープレート、印鑑、手数料(但し町ナンバーは手数料不要)

所有者が転出、死亡などにより使用していなかったり、使用不能な状態(故障など)でも届け出のない限り、引き続き課税の対象となりますので、廃車・名義変更の手続きは必ずしてください。

問合先

財務課 ☎ 82 1903

農地転用の申請はお早めに

農地を農地以外に転用するには、農地法の許可が必要です。

また農用地区域内の農地を転用する場合は、農用地区域からその農地を除外した上で、

農地法による転用許可を受ける必要があります。

今回の農振除外の申請は、3月20日(水)まで受け付けています。転用計画のある方は、事前に産業建設課までお問い合わせください。

☎ 82 1904(内線192)

次回の受付は...

6月3日(月)～20日(木)です。

平成14年度

健康診査受診予定調査の実施について

この調査は、健康診査(基本健康診査・結核検診・各種がん検診)を実施するにあたり、皆さんの健診予定を把握するために実施するものです。

職場や病院などで健康診査を受ける機会のない方は、年に一度は健康を確認するために、町で受診されるようお勧めします。

各区の健康づくり推進員の方が、調査票を配布・回収されますので、期日までに記入をお願いします。

対象者

平成14年度の年齢で

・男性40歳以上(昭和38年3月31日以前に生まれた方)

・女性30歳以上(昭和48年



広報しょうがわ 表紙原画展

期間 3/15(金)~4/8(月)

*火曜日休館

午前10時~午後6時

野村修三さんに製作いただいた広報4月号から3月号までの表紙の原画の展示と、原画ができるまでの工程を紹介します。

また、昭和57年にも広報の表紙を製作いただいており、その中の数点を併せて展示します。町民の皆さん、どうぞご覧ください。

庄川美術館

第12回 水きらら・人・花展

2/23(土)~3/24(日)

今年度美術館が開催した実技講座参加者の作品発表展です。

絵を描いてみたいけどできるかしら...。彫刻をしてみたいな...と。最初は皆おそろおそろの筆や彫刻刀を持ちましたが、講師の先生方の指導と仲間がいることで、今では楽しみながら制作に励んでいます。

絵画45点、彫刻レリーフ13点を展示します。庄川町からは7人が力作を出品します。

この機会にご覧になってください。そして次回はあなたの作品も...



昨年の講評会の風景

善意の窓

福祉資金として

庄川町金屋 野村忠平さん(亡母の供養に 30万円)

庄川町五ヶ 岩田錦治さん(亡妻の供養に 10万円)

愛知県名古屋市 野村勝治さん
(亡父の供養に 20万円)

これらのご厚志に対し、深く感謝申し上げます、有効に活用させていただきます。

3月31日以前に生まれた方) 1月31日現在、町に住所のある方
但し、昨年度の調査においてすべての項目に「入所」・「職場」に印を付けられた方にはお届けしません。調査票のない方で町の健康診査を希望される方は、保健センターまでご連絡ください。
☎ 82 5320

内容
第1部 会員による発表
第2部 一般参加
第3部 健唱歌謡院による発表
第2部は、どなたでも参加することが出来ます。
問合先
雄川法子 ☎ 82 2722
黒部ルートをあなただも体験してみませんか
黒部峡谷鉄道の樺平から黒部ダムを結ぶ黒部ルートは、普段は関西電力㈱の工事用ルートとして使用されていますが、希望者を募り見学会が開催されています。

対象者
小学5年生以上の健康な方
(小学生は保護者同伴)
コース
樺平出発コースと黒部ダム出発コースのいずれか
見学日
5月22日~11月28日まで
パンフレット備え付け場所
県庁、県総合庁舎、各市町村役場窓口、関西電力県内事業所など
問合先
黒部ルート見学公募委員会事務局(関西電力㈱北陸支社内)
☎ 076 442 8263

町政モニター募集

町民の生活に根ざした町政の執行のため、町政と町民のパイプ役となって活躍していただく「町政モニター」を募集します。

町民皆さんのよりよいご意見を町政に反映させるために、あなたの力をお貸しください。

募集人員 2人

応募要件 20歳以上で町内在住者

任期 2年間

主な仕事
・町政モニター会議への出席や町イベント、行事への参加
・町広報への寄稿等

応募方法 官製ハガキ、FAXまたはEメールで住所、氏名、年齢、性別、職業を明記

送付先 〒932-0393 庄川町青島401
総務課「町政モニター募集係」

☎ 82-1901 ☎ 82-3521

Eメール somuka@town.shogawa.toyama.jp

募集期限 3月22日(金)



俳句

庄川俳句会



文化芸術



短歌

アカンサス
野村玉枝選



男難女難あえかなる愛育つべし 松井 寒灯
 四方山の話炬燵の老仲間 雨池 遙
 風花や小径小走り溪へ消え 谷口 六友
 除雪車のスリップ跡や雪解坂 石山 欣
 如月の空に彩ある日和かな 畑 郁子
 冬空の大日輪へ湯のけむり 上野 恵子
 人それぞれ病をかゝえ鬼は外 坂戸 たつ
 まんさくに立てば牛岳目の前に 滝 のり
 吹雪く夜のくの字くの字の曲り角 斉藤 尤鶴
 初メダル旅立ちの朝聞きにけり 山下 他美
 春雷を遠く聞きつつ夢の人 池田 雅泉

山まゆの会
 冬川的一条青く蛇行せり 有沢美智子
 眼前の雪山に向け歩き出す 飯田小枝子
 庄川の土手に生まるる春の音 小川 ふみ
 天空へ木彫の竜や寒明くる 沖田 泰子
 冬つらら歩を拾ひたる母の杖 押見南美子
 おほかたは薄墨の景寒椿 滝 昌子
 雪合戦夢の中まで逃げまどふ 堂垂 猷子
 寒そつめん布の如くに干されけり 富樫アヤ子
 しづり雪杉山鉾を揃へたり 森松さち子
 薄氷やあぎとふ鯉を掬ひたる 吉田百合子
 涅槃図の人間くさき鳥けもの 久保美智子

ためらはずボケたらあかんと娘の言 朝倉 捨子
 葉我が老いつきの労はりと聞く 朝倉 捨子
 雪やみて今朝を咲きそむ寒椿去年よ 太田ユキエ
 りふえて可愛く三つ 川上 キク
 銭湯で無事上がったたけ転ばれんな 優しき気配り番台の女 木村 和子
 飼犬のアーサーは逝き如月の雪の 朝の鳴き声はなく 齊藤きみ子
 雪印社名のマークを汚しつつ黒き雪 へと裁かれて伏す 志部合良一
 川土堤の雪播き分けて落の薑転げ落 ちそに頭出しをり 島田 敏子
 曇り空遊び心や雪の片時折り陽も射 泣く孫を紐で負ふへば暖かき背にと 清水 昭子
 るとると眠りてゆきぬ

西山の温泉に來り東山いつくしみ望 長谷 良作
 む吾が住む辺り 藤本久美子
 嘘ひとつ秘めたる吾娘がEメール打 ちたる文字が切なく揺れぬし 松原 樹雄
 北風の太く鳴る夜は軒低き屋根に厚 着の雪の温くとさ 山崎 則子
 梅の木にぼた雪降りて重たげに日差 しさしこみ枝軽く伸び 山本 知子
 族議員の新語生み出す灰色の政界に 待つ平成の桃太郎 吉田 数子
 爆竹の音山肌に木霊して夜空を焦が す左義長の火

会員募集
 メモと鉛筆一本で、
 あなたも歌人になりませんか。

力作を紹介します

中学校

『抽象彫刻 ~ 思いを形に ~』

1年次の塑造の学習から発展し、3年生では彫造に挑戦しました。素材の「石」は、それぞれの伝えたい思いや願いに応じて各自が選択しました。大自然の塊とじっくり向き合い、「木目」とはまた違った「石目」との出会いに驚き、新しい『自分にしかなることのできない石』を誕生させました。



素材：天然石（白彫石）

「香」
3年 前田 彰子

いい香りが部屋中を包み込むような
柔らかな感じを出しました。見る人も優
しい気持ちになれるよう、気持ちを込め
て作りました。



素材：天然石（滑石）

「オレ=夜高」
3年 藤永 一

自分の夜高に対する思いや熱中して
いる思いを形にしました。この石は磨け
ば磨くほどいい艶がでるので放課後も
使って自分が納得のいく作品にしました。



素材：発泡セメント

「モンテスキュー」
3年 島田 泰幸

今の社会の様子とともに明るい未来
を願って制作しました。素材を生かして、
ポコポコした感じを出し、全体の変化や
バランスを大切に表現しました。

みんなは みんなの宝物



このコーナーでは、満3歳までの子どもの写真を募集しています。

住所、保護者、子どもの氏名(性別)、保護者から子どもへのメッセージ(20字程度)を書いて、企画調整課へ提出してください。(郵送でも可)自薦、他薦は問いません。

掲載は先着順となります。また、掲載後は、広報と一緒に返却します。



いつもニコニコ、お兄ちゃんと遊ぶのが大好きです。これからも仲良くネ!

島田 龍太郎くん
(示野)
父...優 母...由美



大きくなったら、ロールパンナちゃんになるよ!!

山本 芽依ちゃん
(金屋)
父...勉 母...昌美



お姉ちゃんと一緒に遊んでいる姿が一番好きです。

長谷川 多聞くん
(古上野)
父...章 母...恭子

この人この顔 この人生

2

山本 久夫さん
(金屋)

「スキーを通じて人づくり」

山本さんは昭和22年生まれの現在54歳、小中学生へのスキー指導(ジュニアレーシングチーム)やたくさんの趣味を持ちながら、人生を楽しく送っていらっしゃいます。

特にスキー人生は、20歳頃友人に誘われて赤倉にスキーに行った時、木にぶつかって9針を縫うけがをし、「悔しくて赤倉を攻略したくてスキーを始めた」と話してくださいました。現在、ジュニアレーシングチームでスキーを教えるおられますが、全国ジュニアスキー連盟委員長の言葉に「金メダルをとって何の価値がある。人間性を作らんなあかん」という教えに共感し、「技術面よりも人間性が大切。特に庄川の子どもは内向的なので、人の前に出て堂々としていられるような人間を育てていきたい。国体に出場した齋藤君や井上君は性格も明るくあいさつなどもしっかりできる子」と、教え子の成長にとても喜んでおられました。また、「子どもたちに教えられたこともたくさんあり、自分自身の為になっている」と話してくださいました。

また「3人の子どもに自然の不思議や神祕を教えてやりたい」ということがきっかけで、巣箱作りから始めた「バードウォッチング」。今では子どもと一緒に鷹や鷲など猛禽類の巣を探しに行くことが楽しみのひとつになっているそうです。自分の仕事を少し犠牲にしながら、子どもたちにスキーを教えています。山本さん。「これからも続けたい」と目を輝かせてお話くださいました。将来ある町の宝、子どもたちのために今後もがんばってください。



山本さんを囲むジュニアレーシング6年生の子どもたち

ふるさと庄川百景

大正の匠のわざの文化財 庄川左岸 舟戸橋詰



明治から大正の匠たちには、今日の大工職人には忘れ去られたような『匠の誇り』があったようだ。稀に保存されている明治大正の建造物には、繊細な神経と、研ぎ澄まされた技量と、全体的なまとまりと風格が漂っている。写真は舟戸橋詰に今も大正の匠の姿を残す校舎の正面入口である。俗に学校の「御拝」とも云った。

大正10年6月、東山見小学校の校舎が新築されたときの正面玄関である。以来、同校の校舎を間借りして庄川中学校が開校し、昭和27年、中学校が現校地に移ったとき、大正10年建築の小学校本館と共に移築され、今日では往時の面影を残す唯一の建物となった。

写真撮影 山田 辰夫氏 / 写真解説 杉森富美吉氏

発行日 / 平成十四年三月五日 発行所 / 富山県庄川町 (郵便番号 九三二-〇三九三)

編集後記

ついこのあいだ小学校に入学したと思っていた娘が、早いもので今春中学生になります。先日、入学説明会があり中学校に行ってきました。母校の懐かしい教室、授業を受ける生徒の姿を見て、20年前中学生だった頃の自分を思い出していました。

校舎は古くなっているものの、生徒たちは校訓「明快練磨」のもと、昔と変わることなく明るく生き生きと学校生活を送っていました。

校長先生より「いい仕事をする時は、いい準備が必要です。入学前に心の準備を」という話を聞き、また先輩方の学校生活の様子を見て、期待に胸をふくらませていることでしょう。今春の入学予定者は67名、みんなが元気で気持ちよく入学式が迎えられよう願っています。

春はもうそこまで来ています。

戸籍の窓

すこやかに

住所	出生児氏名	性別	年齢
金屋 辻原 壮汰	男	和治	1/12 月
青島 漁 ひと子	女	康男	1/13 日
三谷 谷口 倫史	男	建三	1/14 日
金屋 西川 美咲	女	康字	1/24 日
金屋 野村 未来乃	女	利博	1/25 日
庄 水上 亜咲	女	昭弘	1/29 日
青島 小西 未桜	女	弘一	2/6 日
金屋 白山 真吾	男	昌人	2/10 日

しあわせに

住所	夫婦氏名
金屋 大山町	太田 善世
(藤村)	佳久

やすらかに

住所	故人氏名	年齢
金屋 野村 野村 野村	野村 野村 野村	93 91 86
青島 野村 野村	野村 野村	86 86
青島 野村 野村	野村 野村	86 86
高橋 野村 野村	野村 野村	76 76
五ヶ川 野村 野村	野村 野村	86 86

町の人口(2月末日現在)

	前月比	前年比	転入	転出	出生	死亡
人口	7,278(+4)	(49)	17	15	7	5
男	3,499(+1)	(39)				
女	3,779(+3)	(10)				
世帯数	2,038(+3)	(+2)				
高齢人口率	1,785(0)	(+15)				
幼年人口率	24.5%(0.0%)	(+0.3%)				
世帯数	953(6)	(31)				
世帯数	13.1%(0.1%)	(0.3%)				

印刷 / 柳アヤト 第575号